

高齢者支援センター 「認知症サポーター養成講座」

を開催しませんか？



「認知症サポーター」とは、認知症について正しく理解し、認知症の人やその家族を温かい目で見守る応援者のことを言います。何か特別な事をする必要はありません。

今後、高齢化率がますます上昇し、それと共に認知症の人も増えていくと言われている中で、医療や公的サービスだけでは地域での生活が支えられなくなることも予想されています。

この問題を解決するには、年齢を問わず多くの人に認知症に関する正しい知識と適切な対応方法を習得してもらい、地域の支え手（認知症サポーター）となってもらうことが有効な方法の一つです。そのため、ご要望があれば、自治会や学校、職場などあらゆる場で、認知症サポーター養成講座を開催します。

認知症になっても安心して暮らせる地域を目指して、地元の集まりや団体、会社の研修の一環として、認知症サポーター養成講座を取り入れてみませんか？

◆講座の内容

- ① 認知症の原因、具体的症状
- ② 対応の仕方・心がまえ
- ③ 認知症サポーターとは 等

主に講義形式で行いますが、DVD上映やグループワーク等も行う場合があります。

◆所要時間

1時間～1時間30分程度

◆対象

田原市内在住の方（5人以上）

◆講座の申込み・問合せ先

（左記の各校区別高齢者支援センター）

*あつみの郷

（田原中部小、衣笠小、田原南部小）

☎22-6784

*田原市社会福祉協議会

（野田小、泉中、赤羽根中、伊良湖岬中）

☎45-3611

*福寿園

（東部中、葦浦小、福江中）

☎27-0882



ヘルプマークを知っていますか

ヘルプマークとは、援助や配慮を必要としていることが外見からは分かりにくい方々が、周囲に配慮を必要としていることを知らせることで、援助を得やすくなるよう作成されたマークです。



ヘルプマークを着けることで、支援を必要としていることを「知らせる効果」と、それを見た方に「支援を促す効果」があります。このマークを見かけたら、電車やバス内で席をゆずる、困っているようであれば声をかける等、思いやりのある行動をお願いします。

【配布開始日】 7月20日 愛知県内一斉に配布

【配布対象者】 義足や人工関節を使用している

方、内部障害や難病の方、又は妊娠初期の方など、援助や配慮を必要としている方

【配布場所】 田原市役所

豊川保健所 田原保健分室（田原福祉センター内）

田原市障害者総合相談センター（田原福祉センター内）



田原市社協相談支援事業所は、障害者の方やその家族から生活、就労等に関するあらゆる相談に応じます。まずは、ご相談ください。

**田原市社協
相談支援事業所**
☎0531-23-0610